

あいちの印刷

9

2011.9
No.478



「猪苗代湖」の朝日

もくじ

巻頭言 「見える化」からはじめる収益改善 ／教育委員長 松岡祐司	3
9月は「印刷の月」	4
愛知県からのお知らせ 企業訪問による環境支援	6
Japan Color認証制度	7
平成23年度中小企業庁支援策① 中小企業施策利用ガイドブック	8
愛印工・経営革新セミナー	10
愛印工・全印工連 Adobe CS5テクニカルセミナー	11
身近な催し物のお知らせ	11
「第20回グリーンプリンティング工場」 新規に7工場を認定	11
「デジタル印刷」にグリーン基準	12
「IGAS2011」開幕	13
「製版材料の価格改定について」／「月刊カーボン フットプリント」発行／事務局だより	14

巻頭言

「見える化」からはじめる収益改善

教育委員長 松岡 祐司

高井理事長の本年度方針である「健全な印刷産業にする」ために、教育委員会では全印工連教育労務委員会と連携して「見える化」からはじめる収益改善の啓蒙活動を行っている。

中部地区では本年に入り経営破綻する印刷会社が増加した。原因はリーマンショックや震災・インターネットによる受注減、原材料の高騰、競争激化による価格下落、過度の設備投資による借入金の増加などが複合的に影響して収益が悪化した結果だ。

健全な印刷会社とは、償却を行っても赤字にならず、長期借入金の完済年数が10年以内とすると、返済財源は償却と経常利益の半分なので、高井理事長が掲げる売上対経常利益率の5%以上が必要になる。

ではどうしたら経常利益率5%以上の儲かる印刷会社になれるのか？それにはまず、リーマンショック前の80%程度の売上でも会社を維持できるように「業務情報の見える化」と「決算書」を自社の診断書として体質改善を行う必要がある。

会社の売上しか「見える化」されていない会社は、燃料計の無いスピードメーターだけ装備された飛行機を操縦しているようなもので、いつ燃料切れで墜落するか危なっかしい。

では売上が減少して行くこの厳しい経営環境の中でどうやって経営したら良いのか。答えは、売上重視の経営から粗利額（付加価値額・社内生産額）重視の経営に舵を切ることだ。粗利額とは売上から仕入れと外注費を引いたもので、この粗利額が固定費を上回れば利益になる事を、全社員で共有する事から始める。

具体的には「ページいくら」から「時間いくら」の経営に変えることだ。1ページ3,000円ではなく、1時間3,000円で計算して1点1点の見積もり金額と実際にかかった時間を検証し、個別の原価計算を行う。制作も刷版、印刷、加工もすべて時間で採算を見ていく。つまり時間はコストであり「見える化」するには最適な尺度になる。

原価がわからなければ原価を低減することが出来ない。市場価格が下がっていく中で、頂ける金額の範囲内でいかに創意工夫をして時間を短縮していくのか。全社員に数字を開示する事で、社員が自らの意志で考え、行動するようになる。後は経営者が高い志と熱い思いを持って、この「見える化」をやり抜き、全社一丸となってITを活用して製造経費削減と人的稼働率の向上を行うことで経常利益率の改善を行えるかどうかだ。

多様化するニーズに応じて

オフ輪プロセスインキ
New Advan PREMIER
ニューアドバンプレミア

100%植物油型枚葉インキ
ナチュラル100
ナチュラル100

枚葉プロセスインキ
Fusion G
フュージョンG

新世代エッチ液
Presarto
プレサート

カルトン用UVインキ
Dai Cure ABILIO
アビリオ

NEW 給水ローラーパッケージ
DIC水棒ECOパック
[DIC水棒洗浄剤ECO] + [DIC親水処理剤ECO]

DICグラフィックス株式会社

■本社 〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル
■名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-15



9月は「印刷の月」

「IGAS2011」の会期中、多彩なイベントが開催されます。是非、お出掛けください。

■「2011印刷文化典」

主催／(社)日本印刷産業連合会

日印産連は、「2011年印刷文化典」記念式典を9月20日(火)東京千代田区のホテルニューオータニ(鶴の間)において開催する。この文化典は「9月印刷の月」にあわせ4年ごとに行なわれている。今回は、「東日本大震災復興支援」を基調テーマに、印刷と社会の繋がりをアピールする内容となる。

式典では、印刷文化賞・印刷功労賞・印刷振興賞・特別賞などの日印産連表彰、第10回印刷産業環境優良工場表彰、公募ポスター最優秀表彰が行われる。懇親会はIGASとの合同懇親会になる。

東日本大震災の復興への具体的な支援として、式典・懇親会の参加費1万5,000円は全額寄付金にあてる。また、個人・法人を対象に寄付を募るほか、懇親会会場にも募金箱を設置する。印刷文化典積立金の一部も加える。この義援金は、全額を東日本大震災遺児(約1,500人)の育英資金として「桃・柿育英会」に贈られる。

また、「印刷産業ビジョン2020～印刷産業の未来に向けて～」と題し、慶應義塾大学大学院の池尾恭一氏が基調講演を行い、印刷産業将来展望検討委員会座長橋本博文氏が印刷産業ビジョンの報告を行う。

■「全印工連フォーラム」

主催／全日本印刷工業組合連合会

全印工連は、「全印工連フォーラム2011」を9月16日(金)の14時から東京ビッグサイト会議棟で開催する。

フォーラム第1部では、「全印工連メッセージ」として、業態変革推進企画室から7年目を迎えた業態変革の集大成「業態変革実践プラン総集編 - 全印工連2011計画」を発表する。また、印刷産業ビジョン研究会が「印刷関連業界と考えるこれからの印刷産業」と題し、①印刷物の減少を抑える対応、②印刷物を伸ばす対応、③ソリューション展開への対応について研究結果を発表する。

フォーラム第2部では、海外研究セミナーと題し米国WILENグループのダリン・ウィレン社長が自社の業態変革事例について講演する。

参加費は、1人3,000円(税込み)

■「電子出版国際フォーラム」

主催／(社)日本印刷産業連合会

日印産連は、電子出版国際フォーラム「IGAS2011 e Book Forum」を9月21日(水)午前10時から東京ビッグサイト会議棟において開催する。

フォーラムでは、「印刷会社の視点」を中心に、米国発の情報だけでなく、アジアや欧州と日本の動向を比較することにより、日本の印刷産業の今後の方向性を考える。参加する

のは、中国、韓国、インド、タイ、イタリア、そして日本。

第1部では、電子書籍市場／ビジネスモデル／電子書籍リーダー／出版社の状況／課題、の5つのテーマに関して、各国の市場の特徴とその背景をスピーカーが紹介する。

第2部では、パネルディスカッションが行われ、各国の状況を日本の現状と比較しながら、今後の電子出版の動向と、それに対して印刷会社はどのように取り組んでいけばいいのか、などを話し合う。モデレーターは、東京電機大学出版局の植村八潮局長。植村氏は、日本における電子出版の第一人者で、日本出版学会副会長や国内の標準化委員、電子ペーパーに係わる調査委員などを務めている。

フォーラムの定員は250名。参加費は1名3,000円(消費税込み)。

■「環境国際フォーラム」

主催／NPO法人クリーン・プリント、印刷機材団体協議会

NPO法人クリーン・プリントと印刷機材団体協議会は、9月18日(日)東京ビッグサイト会議棟において、午前10時から、イギリスで紙メディア及び印刷における環境問題について活動を行っているNPO法人Two Sidesの代表Martyn Eustace氏を招き、環境国際フォーラム「サステナブル時代における紙メディアの未来」を開催する。また、環境問題や多様なメディアについて造詣の深い企業の方やデザイナー、大手印刷会社の方などによるシンポジウムも併せて行う。

第1部のMartyn Eustace氏の講演では、イギリスやヨーロッパにおける具体事例を紹介しながら、紙メディアの真のサステナビリティについて考える。第2部のシンポジウムでは、参加者から紙メディア、印刷、環境問題について意見をもらいながら、紙メディアを含めたメディアの多様性と可能性及び環境問題について議論を進めていく。

■「第2回世界水なし印刷会議」

主催／日本WPA

日本WPAが中心となり、米国WPA、欧州EWPAが協賛する形で、「第2回世界水なし印刷会議」を、9月19日(月)午後2時から東京ビッグサイト会議棟において開催する。

世界的な環境規制の強化や水なし印刷技術の発展に合わせた最新情報発表、情報を共有化する。

〈主なプログラム〉

・高耐刷力、簡易現像型の水なし版「DOS」について／VIMテクノロジーズ社CEO Avigdor Bieder氏。

・BG(ドイツ労働安全公社)の水なし印刷低放散機認証を獲得した「Genius」水なし専用UV印刷機について／欧州EWPA Detlef Braun会長。

・パタフライロゴ誕生の逸話と米国市場での再活性化／米国WPA ArthurLefebvre氏。

印刷でつながる社会

高品質印刷、高品質印刷、高品質印刷など
印刷は社会の中で欠かせない役割を担っています
印刷業界が持っている、人、人、人と社会
今こそコンピュータの発展を促すために印刷業界が動かなければ
社会のために良質な製品、サービスを提供し続けます

printomorrow

期間 2011年9月1日(木)～9月30日(金)

9月印刷の月

2011年9月印刷の月「印刷文化賞」記念式典・懇話会

主催 印刷文化賞実行委員会 共催 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

協賛 印刷文化賞実行委員会 協賛 印刷文化賞実行委員会

■9月印刷の月 PRポスターデザイン最優秀作品

最優秀賞／共同印刷(株)SP&ソリューション事業部／牛久敦、
笹岡俊介両氏の作品。キャッチフレーズ「印刷でつながる社
会・絆」

催する。

〈内容〉

- ・ISO準拠ジャパンカラー枚葉印刷用2011改定について／凸版印刷(株)茂木雅男氏
- ・標準印刷認証及びマッチング運用認証について／日本印刷産業機械工業会長沼勉氏
- ・ブルーフ機器認証及びブルーフ運用認証について／(株)電通オンデマンドグラフィック橋爪乾氏

■「The2011 Asian Symposium」

主催／(株)日本印刷学会

日本印刷学会では、2011年アジアシンポジウム—印刷の基礎科学技術とその多種多様な展開—を9月19日(月)午後1時より東京ビッグサイト会議棟において開催する。

アジア各国の商業印刷や新しい応用技術に携わる研究者を招待し、国際社会、特にアジアにおける印刷技術の意味を基礎から見直すとともに、印刷技術に応用した新しい産業技術の情報を提供することにより、国際交流を図る。

参加費=有料。

■「2011秋期セミナー」

主催／(株)日本印刷学会

日本印刷学会では、2011秋期セミナー「クロスメディアソリューション プロバイダーへの変革」を、9月20日(火)午後1時より、東京ビッグサイト会議棟において開催する。

印刷業界は、これまでの受注ビジネスからお客様の課題解決のお手伝いをする、ソリューションビジネスに変革が求められている。変革に必要な技術要素は、電子書籍、電子カタログに代表されるクロスメディアと進展が期待されているデジタル印刷といえる。今回の秋期セミナーは、これらの新技術の動向を第1部「デジタルメディア」、第2部「プリントデバイス」として取り上げる。

参加費=有料。



・より使いやすくなり、クラウド化されるPGG／日本WPA 中尾克太事業部長。

また、IGASブースでは、「水なし印刷による環境配慮と社会貢献」をテーマに、VOC削減に効果を発揮するW2 (Water Washable) システムによる印刷実演、義援金つきカーボンオフセットサービスの紹介、クラウドベースの印刷サービス 排出算定ソフトウェア「PGG CLOUD」の紹介などを行う。

■「Japan Color」認証制度セミナー

主催／日本印刷産業機械工業会

日印機工では、9月17日(土)午後1時より「Japan Color 認証制度」セミナーを、東京ビッグサイト会議棟において開

Made in Japan with state-of-the-art technologies

株式会社 小森コーポレーション 名古屋支店 〒454-0807 名古屋市中川区愛知町 4-6 Tel:052-363-5011 www.komori.com

■愛知県からのお知らせ

企業訪問による環境支援 「環境経営・環境技術支援事業」

～自主的な環境配慮の取組をサポート～

愛知県では、環境先進県作りに向けた具体的な一環として、平成18年から「環境経営・環境技術支援事業」を実施している。各分野の専門家とともに企業を訪問して、助言・支援を行っている。事業の内容は以下のごとく。

1) 企業の自主的な環境配慮の取組をサポート

経営面や技術面で環境に関する諸問題を抱える企業に対し、環境経営や環境技術の専門家が現地を訪問し、現場に即応したアドバイスをを行い問題の解決を支援する。

【対象となる支援・相談内容】

(1) 環境経営に関する手法の相談

ISO14001の取得、エコアクション21の認証・登録、環境会計の導入、環境報告書の作成など。

(2) 環境経営と関連性の高い関係法令の説明

環境基本法、環境配慮促進法、愛知県環境基本条例など。

(3) 環境負荷の低減に関する相談

大気汚染法や水質汚濁の防止、化学物質の削減、廃棄物の発生抑制・リサイクル、省エネルギー対策、ESCO事業の導入など。

(4) 生産工程の改善・合理化に関する支援

製品の製造、原材料の置換、設備の改善、事業所内管理など。

【支援の流れ】

① 支援・相談内容に関する打合わせを環境調査センター職員が行う。② 必要に応じて環境調査センター職員が事前に依頼会社を訪問。③ 経営や技術の専門家と環境調査センター職員が依頼会社を訪問し、

現場に即応した説明や、アドバイスを行う。

※電話やメールなどのみによる支援・相談も受け付けている。さらに、支援・相談を愛知県環境調査センター内で行うこともできる。

【対象者・費用】

愛知県内の工場・事業所が対象。支援・相談に要する費用は無料。

【募集時期・件数】

随時受付。応募多数の場合は調整の場合もあり。

【訪問員】

愛知県環境調査センター職員及び社団法人日本技術士会などの専門家。

【申込要領】

(1) 申込方法＝申込書に必要事項を記入の上、FAX又はメールで申込。(2) 申込・問合せ先＝愛知県環境調査センター企画情報部／名古屋市中区栄一丁目25番7-6
TEL052-910-5489 FAX052-991-6241

E-Mail Kankyo-C@pref.aichi.lg.jp

2) エコアクションを応援

エコアクション21とは、環境省策定の「取り組みやすい環境経営システム」。エコアクション21について「詳しく知りたい」、「社内説明会を開催したい」、「導入メリットについて知りたい」、「個別ガイダンスをして欲しい」、そんな要望に専門家が訪問。

【対象者・費用】

愛知県内の工場・事業所が対象。(先着15件)。費用は無料。

【訪問員】

愛知県環境調査センター職員及びエコアクション21審査人などの専門家。

【時間】

1時間程度。

【申込要領】

申込書に必要事項を記入の上、FAX又はメールで。

【申込・問合せ先】

愛知県環境調査センター企画情報部(上記と同様)

オフィスに店舗に工場に、「LED照明」をご提案いたします。

私たちは、
地球にやさしい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。



株式会社 アクスアス

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号

紙営業本部 TEL.(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX. (052) 220-5522

Home Page <http://www.axuas.jp> / E-mail info@axuas.jp

「LED照明器具」の販売を始めました。

「LED照明」は地球環境にやさしい照明です。
聞いてはいるがよく判らないという方のために、
本社1階にショールームを開設いたしました。

ぜひ一度、体験して下さい。

オフィス、店舗、倉庫、工場の照明をはじめ、
ディスプレイや電飾看板にも使えます。
必ずやお客様へのヒントがそこにあるはずですよ。

心よりお待ち申し上げております。

(紙営業本部 環境ソリューション事業部)

■Japan Color 認証制度

「標準印刷認証」に加え、「マッチング認証」

「プルーフ運用認証」「プルーフ機器認証」を開始

(社)日本印刷産業機械工業会が行っています「JAPAN Color 認証制度」が、「標準印刷認証」に加え、「マッチング認証」「プルーフ運用認証」「プルーフ機器認証」が開始されました。以下、その内容をお知らせします。

【標準印刷認証】

標準印刷認証は、2009年10月より認証を開始し、2011年6月現在、認証付与は71工場にのびます。印刷会社を始め、業界の関係者からの関心も高く、また、認証を取得した印刷会社からも、社外へのアピールや工程管理における社内体制の整備に役立っているなど、高い評価があります。(枚葉印刷用ジャパンカラー2007の改定にともない、今回より新しい基準値において審査が行われます)。

【メリット】

①企業イメージの向上/ISO準拠の認定を取得することにより、印刷物及びプルーフを作成する上で高い能力を、日本国内のみならず海外にもアピールすることができます。

②印刷品質安定/標準化により、品質の安定した印刷物がスピーディーに作成できます。

③コストダウン/標準的な印刷条件を基準に印刷すれば、損紙は減少し、インキ使用量も削減でき、生産性向上に繋がると共に経費削減を実現できます。

④取引上の利点/印刷基準が顧客などとの取引条件や入札条件などになった場合、有利に取引を行うことができます。

⑤環境負荷低減/印刷とその色校正にともなう作業や、人の移動などの社会的経費及び運送にともなうCO₂が削減されます。

【マッチング認証、プルーフ運用認証、プルーフ機器認証】

2011年9月より、新たに「マッチング認証」、「プ

ルーフ運用認証」、「プルーフ機器認証」が開始されます。これにより、標準印刷認証を含め、認証制度の4つの認証が全て揃い、デザインから本刷りまでの一貫通貫が実現しました。

「マッチング認証」は、標準印刷認証を取得していることを前提に、印刷における高いカラーマネージメント能力などについて認証が行なわれます。従って、難易度は標準印刷認証と比べてかなり高いものとなります。

「プルーフ運用認証」は、個々のプルーフ機器を実際の現場で正しくメンテナンスし、適正に運用することにより、印刷用途に使用できる信頼性の高いプルーフ(出力物見本)を安定的に出力することができる運用能力などを認証します。原則として、プルーフ機器認証を取得した機器を使用して運用認証を申請することになります。

「プルーフ機器認証」は、プルーフ機器が印刷用途に使用できる信頼性の高いプルーフを、安定的に出力できる能力があるかどうかを認証します。審査にあたっては、プルーフ機器、RIP(出力のためのソフトウェア)、用紙の3つの組み合わせで判定されます。

【標準的な基準によってデザイン会社などで出力したプルーフと印刷会社で作成した印刷物との色の合致を目指す4つの認証】

〈印刷認証〉

「マッチング認証」対象：標準印刷認証を取得した印刷会社。内容：標準印刷認証取得を前提に、高いカラーマネージメント能力などを認証。

「標準印刷認証」対象：印刷会社、内容：安定した品質の印刷物を作成できる工程管理能力を認証。

〈プルーフ認証〉

「プルーフ運用認証」対象：デザイン会社及び印刷会社など、内容：プルーフ機器を正しくメンテナンスし、適正に運用することにより、信頼性の高いプルーフを安定的に出力できる能力などを認証。

「プルーフ機器認証」対象：プルーフ機器メーカー及びベンダーなど、内容：印刷用途に使用できる信頼性の高いプルーフ機器を認証(プルーフ機器、RIP、用紙のセットで認証)

※詳細はホームページで <http://japancolor.jp/>

OLIVER496SD

菊全判4色 印刷機

大型多色SDシリーズ 第一弾

オールインワン
最新自動化設備 完全装備



最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)35-255(代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146



■平成23年度中小企業庁支援策①

中小企業施策利用ガイドブック

(中小規模企業を手助けする制度・事業の紹介)

■新たな人材を雇用するための中小企業基盤人材確保助成金

創業・異業種進出に伴い、会社の経営基盤の強化に資する人材を雇いたい事業主に対し支給される助成金。

〈対象〉

健康・環境分野及び関連するものづくり分野への創業・異業種進出に伴って、経営基盤の強化に資する人材を、雇用保険の一般被保険者として雇い入れた中小企業事業主。

〈支援内容〉

- ・支給金額 1人当たり140万円（最大5人）
- ・申請窓口 独立行政法人雇用・能力開発機構都道府県センター

〈利用方法〉

(1)創業・異業種進出のための準備を開始してから6ヶ月以内に雇用管理に関する改善計画を作成し、都道府県知事に提出。

(2)各支給対象期間(*)の末日の翌日から起算して1ヶ月以内に中小企業基盤人材確保助成金支給申請書に必要書類を添付して、上記申請窓口へ提出。

(*)支給対象期間は、対象労働者の雇い入れの日の直後の賃金締切日の翌日から起算して、最初の6ヶ月が第1期、次の6ヶ月が第2期となる。

〈問合せ先〉

独立行政法人雇用・能力開発機構都道府県センター
(TEL0570-001154)

■雇用に関する支援策

「雇用に関する助成制度」

景気の変動に応じた雇用調整や雇い入れの際に活用で

ガイドブックは、中小企業者が中小企業施策を利用する際の手引書として、主な施策の概要を紹介している。(中小企業庁ホームページからも検索ができる。<http://www.chusho.meti.go.jp/>)

きる助成制度。

【雇用調整助成金】

景気の変動など、経済上の理由により事業活動の縮小を余儀なくされて、休業、教育訓練（以下「休業など」という）、または、出向を行なうことにより労働者の雇用維持を図る事業主は、休業手当、賃金などに相当する額の一部について助成金を受けることができる。

〈支援内容〉

・助成率 休業手当または賃金相当額の2/3（障害のある人の休業など及び出向については3/4、解雇などを行っていない場合は、助成率が上乗せ（2/3→3/4）される。

*1 教育訓練は上記に加えて訓練日として1人1日あたり4,000円（事業所内訓練の場合2,000円）。

*2 一般事業主に対する休業などについては、支給限度日数は最初に事業主が指定する期間（1年間）を含む3年間で300日分。

*3 受給額は、1日1人当たり雇用保険基本手当で日額の最高額を限度とする。（訓練費は限度額に含まず）。

*4 解雇など 雇用労働者の解雇の他、有期契約労働者の雇い止め、受け入れている派遣労働者の事業主都合による中途契約解除などを含む。

〈利用方法〉

休業などの実施計画届けを事前に管轄都道府県労働局長に提出し、計画に基づき、休業など、または、出向を



TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、
先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に
“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。
私たち東洋インキグループは、世界にひろがる
「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社
www.toyoink.co.jp

中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市中区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

特定就職困難者雇用開発助成金
 (※) 週当たりの所定労働時間が20時間
 以上30時間未満の者

	対象労働者 (一般被保険者)	支給額		助成対象期間	
		大企業	中小企業	大企業	中小企業
短時間労働者 以外	①高年齢者(60歳以上65歳未満)、母子家庭の母等	50万円	90万円	1年	1年
	②重度障害者等を除く身体・知的障害者	50万円	135万円	1年	1年6か月
	③重度障害者等	100万円	240万円	1年6か月	2年
短時間労働者 ※	④高年齢者(60歳以上65歳未満)、母子家庭の母等	30万円	60万円	1年	1年
	⑤身体・知的・精神障害者	30万円	90万円	1年	1年6か月

行なった後、2ヶ月以内に支給申請書を提出。なお、管轄労働局長の指揮監督するハローワークを経由して提出できる場合がある。受給には要件があるので、詳細については、最寄りのハローワークまたは都道府県労働局に問い合わせを。

【中小企業緊急雇用安定助成金】

中小事業主向けに雇用助成金の助成内容などを拡充した制度。

〈支援内容〉

助成率 休業手当または賃金相当額の4/5 (障害のある人の休業など及び出向については9/10、解雇などを行っていない場合は、助成率が上乘せ(4/5→9/10)される。

*1 教育訓練は上記に加えて訓練日として1人1日あたり6,000円(事業所内訓練の場合3,000円)。

*2 支給限度日数は最初に事業主が指定する期間(1年間)を含む3年間で300日分。

*3 受給額は1人1日あたり雇用保険基本手当日額の最高額を限度とする。(訓練費は限度額に含まず)。

*4 解雇など 雇用労働者の解雇の他、有期契約労働者の雇い止め、受け入れている派遣労働者の事業主都合による中途契約解除などを含む。

〈利用方法〉

雇用調整助成金の利用方法を参照。

【特定求職者雇用開発助成金】

▽特定就職困難者雇用開発助成金

60歳以上65歳未満の高齢者、障害者など特に就職が困難な方を公共職業安定所などの紹介により継続して雇用する労働者として雇い入れた事業主は、助成を受けるこ

とができる。

▽高年齢者雇用開発特別奨励金

雇い入れ日の満年齢が65歳以上の離職者を公共職業安定所などの紹介により、一週間の所定労働時間が20時間以上の労働者として、1年以上継続して労働者として雇い入れた事業主は、助成金を受けることができる。

〈支援内容〉

受給できる額 対象労働者別の支給額は次の表の通り。助成対象期間を6ヶ月ごとに区分した期間を支給対象期(第1期、第2期、第3期、第4期)といい、支給対象期に分けて支給される。

〈利用方法〉

雇い入れから6ヶ月経過するごとに、その後1ヶ月以内に支給申請書を管轄都道府県労働局長に提出。なお、管轄労働局長の指揮監督するハローワークを経由して提出できる場合がある。詳細については、最寄りのハローワークまたは都道府県労働局まで。

〈問合せ先〉

公共職業安定所(ハローワーク)または都道府県労働局。http://www.mhlw-go.jp/kyujin/hwmap.html

対象労働者	支給額		助成対象期間
	大企業	中小企業	
短時間労働者以外の者	50万円	90万円	1年
短時間労働者※	30万円	60万円	1年

高年齢者雇用開発特別奨励金

(※) 週当たりの所定労働時間が20時間以上30時間未満の者

— 安心を明日につなぐ —

火災共済

— お問合せは愛印工務局へどうぞ!!

((小さな掛金))
 ((大きな安心))



愛知火災共済協同組合

本部 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目10番23号 TEL 052 (251) 6 2 8 1
 (上前津KDビル内) FAX 052 (251) 7 2 7 3



経営革新セミナー(右は挨拶する佐藤壽記委員長)

■愛印工・経営革新セミナー

『先が見えない時代』に どう立ち向かっていくか?』

21世紀、時代の経営のヒントを伝授

講師 田中典生氏
(株脳力開発センター所長)

愛印工組は、8月4日「ウインクあいち」で、経営革新セミナーを開催した。セミナーでは(株脳力開発センター代表の田中典生氏が「『先が見えない時代』にどう立ち向かっていくか?』のテーマで講演した。担当は経営革新・環境委員会(佐藤壽記委員長)。参加者は84名。

セミナーの司会は同委員会の大河内孝司氏が務めた。

冒頭、佐藤委員長が「当初の予定よりも多くの方に参加いただきました。本日は脳力開発センターの田中先生をお迎えして、講演していただきます。今後の皆様方の会社の経営に少しでもヒントになればと思っています」と挨拶した。

この後、田中氏が前記のテーマ(サブテーマ「思わず実感…目からうろこが落ちる! 21世紀経営のヒント」)で講演した。

講演の冒頭、リーマン・ショック後の2009年1月、車のディーラーが平均28%売上を落とす中で、37%増を記録したディーラーの例を紹介。その理由を「お客様に購買理由をアンケートしたところ、三分の一が『新聞を読んだら、車が売れていないと書いてあるから、心配で買いにきた』という答えでした。つまり、売上と利益をお

客様が心配してくれる会社だったのです」と説明。そして、「営業がどんなに頑張ろうと、会社がどんなに頑張ろうと、実は売上も利益も上がりません。売上と利益を上げられるのは、お客様だけです」と述べた。

このような例を紹介した上で、「どうしたら、そういう会社になれるのでしょうか」と問いかけ、日本の人口の推移、過去の政府の金融政策を踏まえ、「まったく違う世の中が、これから来ようとしています」と断言。「大量生産のモデルはこれからは通用しません。過去の延長線上に未来はありません。キーワードは『どうやったら高く売れるの?』。これだけです」と述べた。

また、FacebookなどSNSの台頭により、「お客様が情報弱者から情報強者になった」と指摘。その結果として、「ある日、突然、お客様がいなくなる可能性があります」「1番の会社しか生き残れない可能性があります」と警鐘を鳴らした。

そのような状況の中で今後、会社が継続、業績を上げていくためには、「お客様と太い絆を作ってきた会社はビクともしないのです」と『絆』をキーワードとして挙げ、「絆とは、思い出の積み重ねであり、お客様と一緒に作った思い出が多く、絆が太ければ、お客様が売上と利益を心配してくれるようになるのです」と説明した。

この他のキーワードとして、『幸せ』と『仕事』を挙げ、「人を幸せにし、人を幸せにするための味方を増やし、その増やした味方の人との絆を太くするのが仕事です」と説明。「20世紀は、大量に物を提供することがお客様を幸せにしていた」が、「今は物よりも『コト』(思い出と物語)をお客様は求めている」と強調した。

さらに、「全然違う世の中がきたということです」と前置きして、お客様と接点を持つ現場のパート、アルバイト、非正社員、正社員の接客の重要性を「100-1=0」のキーワードで説明。接客の具体的な成功事例としてアメリカのネットで靴を販売している『ザッポス(Zappos)』のエピソードを紹介した。

今後の経営には、①すべての社員は最高の能力を發揮する、②全社員がイノベーションしている、③変化を受け入れる会社の3点が会社に求められる、20世紀に経営に不可欠と言われていた『人・物・金』思考からの脱皮、実用価値に『気分価値』と『幸せ価値』をプラスすることの必要性、サービスに『ホスピタリティ』を付加することの必要性を説いて講演を終えた。



- 印刷機械
- 製版機械
- 製本機械
- DTP 関連機
- 印刷諸材料
- データ制作
- オンデマンド印刷
- データ出力

お役に立てる
印刷関連
総合商社

120余年の伝統に
培われた信頼と
先進の
テクノロジー

株式会社 **盛功社**
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
<http://seikosha-net.jp/>

御社の印刷工場になります

制作から印刷・製本・発送まで自社一貫体制

- ◎ カラーもモノクロもページもの印刷得意です
- ◎ 厚紙パッケージ菊全4色印刷始めました
- 0.04mmの薄紙から0.8mmまでの厚紙まで -
- ◎ 菊全シルバーマスターでのページもの印刷もできます

大日印刷株式会社
0564-62-8461(代)

幸田工場 額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔46-1 FAX(0564)62-8463
<http://www.p-dainichi.com> E-mail:mail@p-dainichi.com



「Adobe CS5テクニカルセミナー」(左は挨拶する松岡委員長)

■愛印工・全印工連

Adobe CS5テクニカルセミナー

実務者のフォロー、スキルアップが目的

愛印工組・教育委員会(松岡祐司委員長)は、8月8日「ウインクあいち」で、「Adobe CS5テクニカルセミナー」を開催した。共催は全日本印刷工業組合連合会の教育・労務委員会(佐竹一郎委員長)。このセミナーは、全印工連が昨年実施した「Adobe CS5全印工連特別ライセンスプログラム」事業の一環として開催されたもので、実際の実務者(制作者、デザイナー)のフォロー、スキルアップが目的。参加者は114名。

セミナーに先立ち、全印工連の事業課・教育・労務担当の本間政光主任が挨拶に立ち、「会員企業の制作者、担当者を対象に、Adobe CS5の技術的な指導をアドビ社の近藤(祐爾)先生に行っていただきます」と講師を紹介。

次に、愛印工組の松岡委員長が挨拶に立ち、「今日は114名というたくさんの方にご参加いただき、ありがとうございます」と感謝の意を表した後、「Adobe CS5全印工連特別ライセンスプログラム」が計画・立案、実施されるまでの経緯、目的、メリット等を説明。そして次のように述べた。「アドビ社様の新しいソフトを十二分に活用して、お客様のお役に立てていただきたい。皆様がお客様のお役に立ち、お客様に印刷物だけでなく、印刷プラスアルファの新しい価値を提供する。そうすることでお客様に喜んでいただき、そのお客様はその先のお客様に喜んでいただく。そうすると皆様の会社はたくさんの方の発注をいただける。皆様の会社が良くなり、延いて

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
9月26日(月) 18:30~ 20:00	事業・行事	マーケティングセミナー 「浪速のカリスマ添乗員に学ぶ “マーケティングの極意”」 講師 平田進也様(株日本旅行 西日本営業部営業推進事業部 部長)
	ところ	名古屋会議室 宝第一伏見中央店(宝第一ビル2階)
参加費:組合員 各社 1人目@¥4,000 2人目から@¥3,000 一般1人@¥5,000		
9月30日(金) 14:00~ 16:30	事業・行事	Adobe CS5.5全印工連特別ライセンス説明会
	ところ	ウインクあいち 901会議室
※参加費無料 ※組合員限定		
10月31日(月) 11:00~ 12:00	事業・行事	平成23年度永年勤続優良従業員表彰伝達式
	ところ	未定
会長及び理事長表彰(10年以上表彰) 県知事表彰(15年以上表彰)		
11月1日(火) 6日(日) 11:00~ 12:00	事業・行事	第2回ポスターグラフィック入賞・入選作品展
	ところ	愛知県美術館ギャラリー 展示室A [愛知県芸術文化センター8階]
※入場無料 ※最終日は16時まで		

は印刷業界も良くなる。こういう動きを期待します」。

また、松岡委員長は「うちのデザインのメンバーによく言うのですが」と前置きして、「多分、あと5年、10年もすると『グラフィックデザイナーっていたんだよな』という言葉が出てくるような気がします。ですから、皆様には電子化に対応できるクロスメディアデザイナーになっていただきたいと思います」と期待を表明した。

この後、セミナーに入り、アドビシステムズ(株)デスクトップ製品営業本部ビジネスデベロップメント部の近藤氏(ビジネスデベロップメントマネージャー)が、Adobe Illustrator CS5、Adobe Photoshop CS5、Adobe Indesign CS5/CS5.5、Adobe Acrobat & PDFの説明を行った。

日本印刷産業連合会

「第20回グリーンプリンティング工場」 新規に7工場を認定

日印産連は、第20回グリーンプリンティング(GP)工場認定委員会において、新規7工場(オフセット6工場/シール1工場)、更新9工場(オフセット5工場/シール2工場/グラビア2工場)をGP工場として認定。(今回の認定により全体のGP認定工場は262工場となった)。

【新規7工場】(オフセットのみ)

▼プリ・テック(株)本社・本社工場(愛知県西尾市) 全印工連
▼半田中央印刷(株)本社・本社工場(愛知県半田市) 全印工連
▼(株)賢工製版天王洲工場(東京都品川区) 全印工連
▼(株)文陽堂(東京都新宿区) 全印工連
▼(株)石原紙工本社工場(東京都杉並区) 全製工連
▼水上紙工(有)(東京都渋谷区) 全製工連

【更新9工場】(オフセットのみ)

▼協同印刷(株)岐阜工場(岐阜県岐阜市) 全印工連
▼(株)グラフィカ大内(東京都墨田区) 全印工連
▼イシイ(株)大阪工場(大阪府堺市) 全印工連
▼(株)ダイトクコーポレーション本社・工場(石川県金沢市) 全印工連
▼(株)社谷印刷(石川県金沢市) 全印工連

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社

メイカミ
meikami

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市東区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418

豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL (0568) 28-2049

「デジタル印刷機用インキ」(上)と「デジタル印刷」グリーン原則・グリーン基準

項目		グリーン原則	グリーン基準
購入資材	デジタル印刷機用インキ (トナー、インクジェット用インク)	①人体に危害を及ぼす物質を使用していない	次のいずれかに該当すること ・印刷インキ工業連合会のN.L規制に適合すること ・欧州 RoHS 指令に適合していること ・インキ提供メーカーの欧州 RoHS 指令に準ずる自主基準に適合していること
		②有害物質発生の原因となる物質を使用していない	・塩素系樹脂を使用していないこと
		③P R T R 指定化学物質を考慮している	<水準-1> ・P R T R 指定物質を使用していないこと <水準-2> ・P R T R 指定物質を特定していること (MSDSを備えている)
		④VOC発生を抑制している	・VOCを使用していないこと。または、VOCを使用するインキの場合は、当該インキを使用するデジタル印刷機が印刷機外へのVOC排出を抑制する機構になっていること
工程	デジタル印刷	①印刷工程の温暖化防止、省資源、騒音・振動の抑制に取り組んでいる ②廃棄物の排出抑制やリサイクルを推進している	・デジタル印刷機の環境負荷(消費電力、動作音等)を把握していること ※インラインの後加工機も含む ・省電力機能の活用、未使用時の電源オフなど、省エネ活動を行っていること ・損紙を削減するための事前設定、見当ずれを防ぐための調整機能の活用、自動検査設定などの各種調整による損紙削減並びに予備紙削減の活動を行っていること ・損紙等の古紙等へのリサイクル率が80%以上 ・インク、トナー等の容器、感光ドラム等のリユース、リサイクルを行っていること

■「グリーンプリンティング」

「デジタル印刷」にグリーン基準 12月1日から運用開始

(社)日本印刷産業連合会では、グリーンプリンティングにおいて、デジタル印刷工程のグリーン基準化について明らかにした。

【オフセット印刷サービスグリーン基準、「デジタル印刷」に関する基準を設定】

近年、印刷会社においてもデジタル印刷(オンデマンド印刷)の比重が大きくなっている。今後も益々増加することが予想され、また、グリーン基準化への要望も多いことからデジタル印刷に関する「購入資材」の基準と、「工程」の基準を改定し、今後、デジタル印刷物へのGPマークの表示、デジタル印刷工程を持つ事業所の認定が行えるようにした。

対象は、デジタル印刷のうち「電子写真方式(トナー方式)と「インクジェット方式」とし、トナーとインクジェット用インクの基準を設定(用紙などその他の購入資材の基準は、オフセット印刷の基準をそのまま適用)。

また、工程の基準では、デジタル印刷機の使用などにおける環境配慮をもとめている。平成23年6月1日改定、平成23年12月1日から実施。

【GP資機材認定制度(製版関連資材)がスタート】

製版関連資材は、現像機(15製品認定)、プレート(45製品認定)、製版薬品-現像液(6製品認定)の3種類で、66製品が認定を受けている。平成23年6月の時点で、洗浄液、エッチ液の資機材認定も含め、11の資機材メーカーが参加し、207製品が認定登録されている。(認定登録製品一覧は、連合会のホームページで検索ができる)

GP資機材認定制度参加メーカー(登録番号順)

(株)日研化学研究所、東京インキ(株)、光陽化学工業(株)、日本シーマ(株)、富士フィルム(株)、ロハスプリント(株)、コダック(株)、日本アグファ・ゲバルト(株)、コニカミノルタビジネステクノロジーズ(株)、東レ(株)、富士薬品工業(株)



「IGAS2011」開幕

テーマ／Print your Future 印刷は環境とともに進化する

9月16日～21日 東京ビッグサイト東館
(東京都江東区有明3-11-1)



印刷産業の最新技術とソリューションを一堂に集める「IGAS2011」が、9月16日(金)から21日(木)までの6日間、東京有明の東京ビッグサイト・東館全ホールを使用して開催される。総数310社近くに上る出展各社は開催をまじかに控え準備に余念がない。

今回の統一テーマは、「Print your Future 印刷は環境と化する」。

IGASは4年に1度開催される国際印刷機材展。東日本大震災の影響により、開催が危ぶまれたが、「被災された地域の復興と、印刷関連業界の回復の起爆剤として期待が大きく、

その期待に応えるためにも、日本の印刷産業の底力を世界に発信していきたい」という、強い決意のもと予定通り開催を決めた。

IGAS2011は、東京ビッグサイトの東1～6ホールを会場に、午前10時～午後5時まで開催される(最終日の9月21日は午後4時まで)。

入場料は、通し券当日が2,000円、事前登録では1,000円。

今回は、入場システムを刷新し、タッチするだけで入場できるICカードを利用した新システムを導入している。

展示会場は、プリプレスから印刷、製

本加工に至る最新機器が出展される。

また、会期中には、環境国際フォーラム、電子出版国際フォーラム、アジアシンポジウムなど、国際展にふさわしい多くの会議や講演会が開催される。

※週末と祝日をはさんでいますので、是非、足を運んでください。

印刷業界の現状と今後を肌で感じることが、大変有意義なことだと思います。交通手段は、大崎からりんかい線、新橋からゆりかもめ、日の出橋から水上バス、あるいは、東京八重洲口から都営バスなどがあります。

なぜ、人材派遣はモトヤ？

印刷関連業務のスタッフを
必要なときに必要な期間だけ
派遣します。

人材を探している企業と仕事を探している人材の出逢いのサイト

M-JOB-N@VI

<http://www.m-job-navi.com/>

モトヤ人材派遣部 名古屋 ☎(052)935-5315

モトヤ人材派遣部 大阪 ☎(06)6261-1941

モトヤ人材派遣部 東京 ☎(03)3523-8719

派遣事業許可番号 般 27-030254/紹介事業許可番号 27-ユ-030174

それは、印刷関連業務に特化した
人材派遣・紹介を展開しているのは、モトヤだけだから...

■ 派遣職種 ■

- コピーライター ● デザイナー ● WEBデザイナー
- DTPオペレーター ● スキャナーオペレーター ● CTPオペレーター
- 印刷オペレーター ● 校正 ● 印刷進行管理者 など全般

業界で一番お客様思考に立った印刷関連総合会社を目指す

株式会社 モトヤ

<http://www.motoya.co.jp/>

名古屋 〒461-0035名古屋 市 東区 黒門町 128 ☎(052)935-5315

大阪 〒542-0081大阪市 中央区 南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931

東京 〒104-0032東京都 中央区 八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711

横浜・埼玉・千葉・京都・神戸・姫路・福岡

都道府県印刷工業組合
理事長各位

全日本印刷工業組合連合会
会長 水上光啓
(公 印 省 略)

製版材料の価格改定への対応について

平素は、当連合会の事業推進に格別のご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。今般、(社)日本印刷産業連合会に対して富士フィルム(株)および三菱製紙(株)から製版フィルム等製版材料の価格改定について説明がありました。改定理由は生産量の激減と原油および銀等の諸原燃料の高騰で、今後の安定供給のために価格改定することです。説明には、日印産連傘下の印刷工業会、全印工連、フォーム工連の役員および事務局が出席し、東日本大震災後の印刷業界の窮状を訴え、富士フィルムは、当初の改定幅が圧縮されるとともに改定時期も繰り延べとなりました。

今後の具体的な価格交渉は、個別企業毎の対応となりますので、購入先と十分納得のいく交渉をお願いいたしますとともに、印刷物ご発注先に対しまして印刷諸資材値上げによる窮状をご理解いただくよう、よろしくお願い申し上げます。

○富士フィルム(株)

1. 価格改定製品

(対象製品、標準ユーザー渡し価格改定率)

- | | |
|--------------------------------|-----|
| (1)製版フィルム | 24% |
| (2)製版ペーパー | 24% |
| (3)FinalProof 材料、SpeedProof 感材 | 10% |
| (4)上記記載商品用処理薬品 | 20% |

2. 価格改定実施時期

平成 23 年 11 月 1 日

3. 発表予定時期

平成 23 年 8 月上旬

○三菱製紙(株)

1. 価格改定製品

(標準小売価格に対して)

- | | |
|----------------|-------|
| (1)シルバーマスター | 約 15% |
| (2)シルバーディジプレート | 約 10% |
| (3)フレディアプレート | 約 10% |
| (4)製版フィルム | 約 25% |

2. 価格改定実施時期

平成 23 年 11 月 1 日出荷分より

3. 発表予定時期

平成 23 年 8 月 1 日

「製版材料の価格改定について」全印工連より上記のような通達がありましたので、報告します。

(社)日本印刷産業連合会

「月刊カーボンフットプリント」発行



日本印刷産業連合会／カーボンフットプリント協議会では、この程、「月刊カーボンフットプリント」を創刊した。連合会では、「これまで地球温暖化対策の一つとして、印刷物に各工程から排出されたCO₂排出量を表示するカーボンフットプリント制度の研究を進め、印刷関連のCO₂算定基準を策定してきた。国が来年3月まで実施するカーボンフットプリント制度施行事業の終了後、カー

ボンフットプリント対応の印刷物の発注が期待できるため、「月刊カーボンフットプリント」を創刊し、広く周知する運びとなった」とその経緯を説明している。

創刊号では、「出版・商業印刷物(中間材) PCR事業者のためのGHG排出量算定ガイドライン (Version2.0)を

発行」の案内を始め、CFP制度の正しい理解、CFPに関する質問、ワンポイントレッスンなどを紹介している。今後の進め方について、①CFP制度に関する国内外の動向、②日印産連のCFPに関するイベント、③個別の企業からのCFPに関する質問への対応、④その他CFPに関する情報、⑤算定の実例などについて掲載していくとしている。

なお、「月刊カーボンフットプリント」は、PDFのみの発行になる。詳細は、<http://www.aj-pia.or.jp> まで。

事務局だより

■お盆休みはいかがでしたでしょうか。たっぷり休暇の取れた人、家族サービスで逆に疲れてしまった人、国に帰り親孝行した人、いろいろな光景が目に見えます。まだまだ暑さは厳しいですが、そこかしこに秋の気配を感じることができるようになりました。■新しい印刷会館も基礎工事が着々と進んでいます。8月



27日に撮りました写真です。来月には骨組みができ始めている頃でしょう。完成まで4ヶ月ほどです。

あいちの印刷

No.478

平成23年9月10日発行

発行人 高井 昭 弘
編集 組織・官公需委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
(仮移転先) 愛知県製本会館 5階
〒461-0005 名古屋市東区東桜 2-9-22
TEL (052) 508-5201
FAX (052) 979-5366

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp